

Chromebookの各部名称や画面構成を知ろう

覚えておきたいキーワード

デスクトップ
ランチャー
シェルフ

Chromebookは、オペレーティングシステム(OS)にGoogleが開発しているChrome OSを搭載したノートパソコンです。手軽で安全性が高いことで人気になってきています。まずは、各部名称と画面構成を確認しましょう。

1 Chromebookの各部名称

ここでは標準的なChromebookを例に、各部の名称をかたんに説明します。機種によっては本体横に音量ボタンや電源ボタンがあったり、搭載されているポートが異なっていたりする場合もあります。

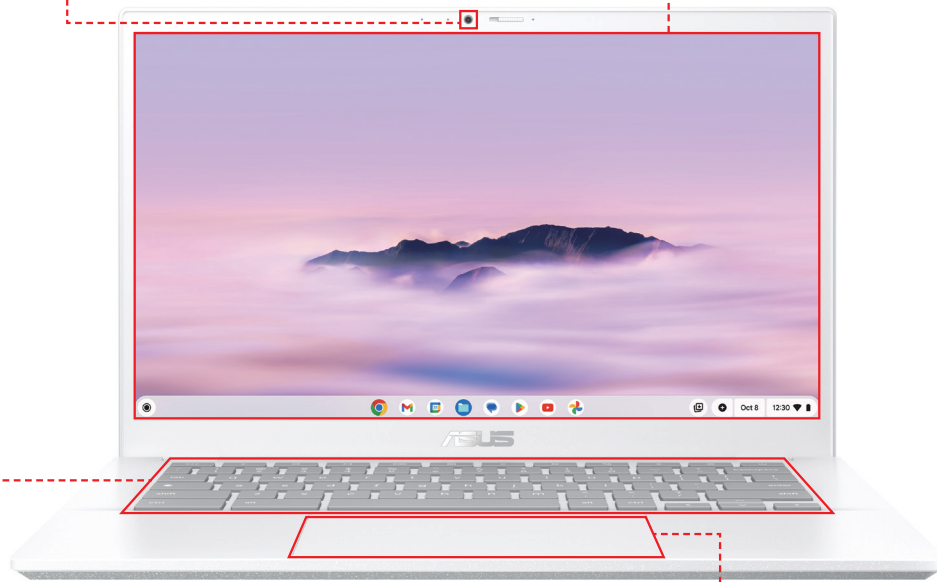
正面

Webカメラ

カメラを内蔵し、ビデオ会議や写真撮影に利用できます。

ディスプレイ

10～15インチのカラー液晶で、機種によってはタッチスクリーンになっているものもあります。



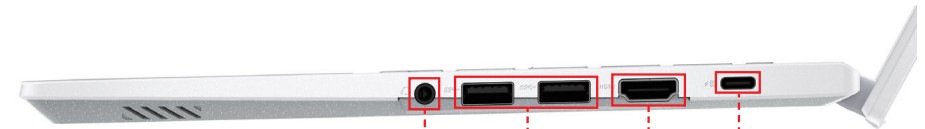
キーボード

キーから文字を入力します。機種によってはキーボードが分離できるものや、キーボードが付属しないタブレット型のももあります。

タッチパッド

ポインタを動かしたり、タップやクリックしてメニューを選択したりするとき利用します。

側面



マイクロホン・ヘッドホン・コンボジャック
ChromebookにUSB機器、スピーカーやイヤホン、ヘッドフォンなどを利用するとき接続します。

USB Type-Aポート
ChromebookにUSB機器を接続して利用することができます。機種によって付属するポートや規格も異なります。

HDMIポート
外部ディスプレイを接続することができます。

USB Type-Cポート
USB機器の接続だけでなく、本体の充電や外部ディスプレイを接続するときなどにも利用できます。

Memo USBの種類

USBには、接続口の形状の違いでUSB Type-A、Type-B、Type-Cといった規格があります。また、速度の違いでUSB 2.0、USB 3.0、USB 3.2などの種類があります。最近ではType-Cを搭載した周辺機器も増えているので、可能ならUSB 3.0以上のType-Cが利用できるChromebookを選択するとよいでしょう。

キーボード

キーの配置や機能は機種によって異なります。ここでは、代表的なキーを紹介します。そのほかに、最上段には画面の明るさや音量を変更するキーがあります。



①	[Esc] キー	操作の取り消しやキャンセルに使います。
②	かな/英数]キー	かな入力モードと英字入力モードを切り替えます。
③	[Tab] キー	項目の移動に使います。
④	Everythingボタン([LQ]もしくは[⊙])	ランチャーを表示してアプリケーションの起動や検索を行います。
⑤	[Shift] キー	英字の大文字入力に使います。
⑥	[Ctrl] キー	他のキーと組み合わせて使います。
⑦	[Alt] キー	他のキーと組み合わせて使います。
⑧	英数] キー	英字入力モードにします。
⑨	[スペース] キー	空白の入力やひらがなの漢字変換に使います。
⑩	かな]キー	かな入力モードにします。
⑪	電源ボタン	電源をオンにします。長押しすると画面をロックします。
⑫	[Backspace] キー	カーソルの1つ前の文字を削除します。
⑬	[Enter] キー	改行の入力や選択項目の決定に使います。
⑭	カーソルキー	カーソルの移動に使います。

2 Chromebookの画面構成

Chromebookのディスプレイに表示されている画面の各部名称や役割を覚えておきましょう。起動しているアプリケーションによって画面表示も異なりますが、基本的な構成は次のようになっています。

デスクトップ画面

デスクトップ
最初に表示されている作業領域です。デスクトップに表示されている背景画像を「壁紙」と呼びます。

ウィンドウ
アプリケーションを起動したり、設定画面を表示したりすると、デスクトップ上にあらわれるウィンドウです。



ランチャーボタン
クリックするとアプリケーションの一覧(ランチャー)が表示されます。アプリケーションのアイコンをクリックすると、指定したアプリケーションが起動します。

トート
最近ダウンロードしたファイルやスクリーンショットを撮ったファイルが表示されます。

シェルフ
よく利用するアプリケーションや起動中のアプリケーションなどのアイコンが並んでいるバーです。利用したいアプリケーションのアイコンをクリックすると、指定したアプリケーションが起動します。

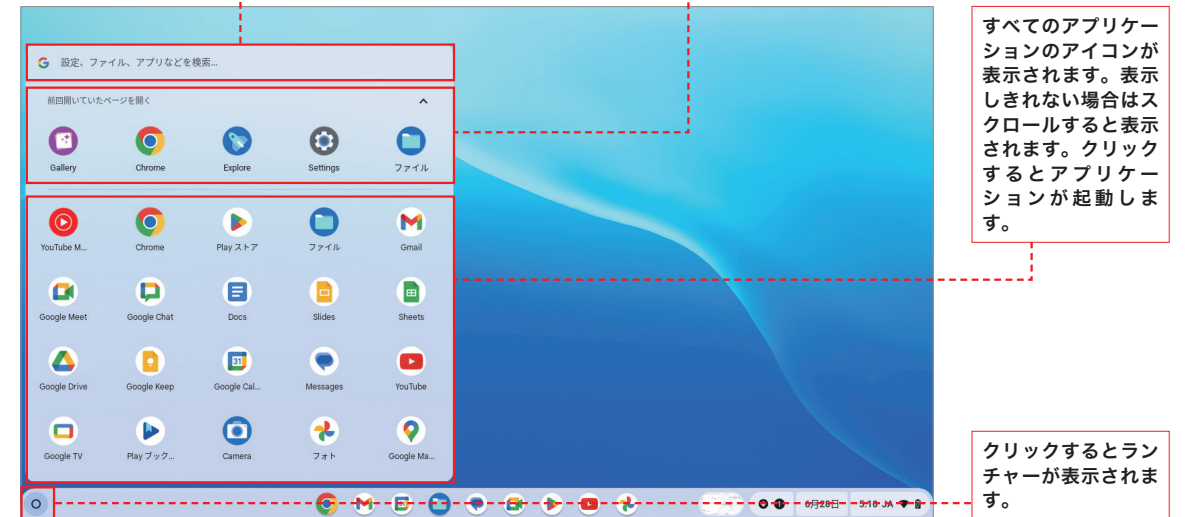
ステータスレイ
本体の状態を示すアイコンや時刻が表示されている部分です。この部分をクリックするとボックスが開き、各種設定を確認したり、変更したりすることができます。

ランチャー

ランチャーボタンをクリックするとランチャーが起動し、検索バーや直前に利用したアプリケーションのアイコンなどが表示されます。ランチャー内をスクロールすると、すべてのアプリケーションを確認できます。

キーワードを入力して、「設定」画面の項目、ファイル、アプリケーションなどを検索できます。

直前に利用したアプリケーションのアイコンが表示されます。クリックするとアプリケーションが起動します。



すべてのアプリケーションのアイコンが表示されます。表示しきれない場合はスクロールすると表示されます。クリックするとアプリケーションが起動します。

クリックするとランチャーが表示されます。

ステータスレイ

ステータスレイをクリックすると、各種設定の確認/変更が行えるボックスが表示されます。また、ボックスの上には本体からの通知履歴が表示されます。

Wi-Fi、Bluetooth、通知、キーボードなどの設定と確認が行えます。

この部分をクリックするとボックスが表示されます。

⏻をクリックすると、電源操作のメニューが表示されます。

音量や画面の明るさを変更できます。

「設定」画面を表示します。

クリックすると通知が表示されます。

クリックするとカレンダーが表示されます。

Chromebookの終了、再起動、ログアウト、ロックなどが行えます。

Section 06

第2章・Chromebookの基本操作

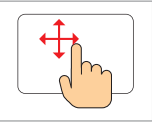
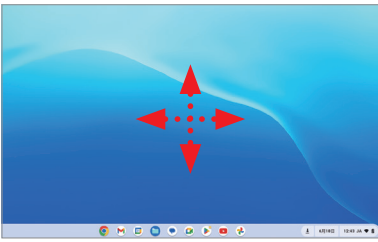
タッチパッドの操作を覚えよう

覚えておきたいキーワード
 タップ
 スワイプ
 右クリック

キーボード付きのChromebookのほとんどには、タッチパッドが備わっています。ここでは、パソコンのマウス操作と対比しながら、タッチパッドの操作方法を説明します。また、タッチスクリーンでも同様の操作が行えます。

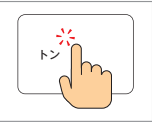
1 タッチパッドの基本操作

タッチパッドは画面に表示されているポインタを移動させたり、アイコンやメニューなどをクリックするなど、パソコンのマウスの代用になるものです。通常のChromebookのタッチパッドには、次のような機能があります。



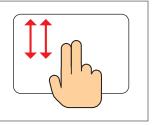
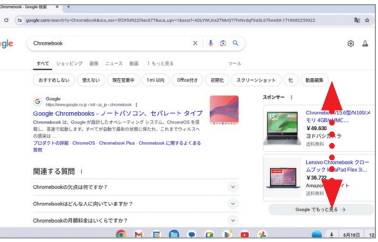
1本の指を動かす

1本の指でタッチパッド上を上下左右に動かすと、その動きに合わせてポインタが移動します。



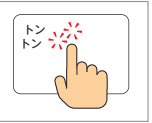
1本指でクリック（またはタップ）

タッチパッドを押すことをクリック、タッチパッドを指で軽く叩く動作をタップと言います。どちらも同じ操作で、ファイルの選択やアイコン/ボタンを押す動作に使います。



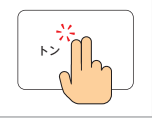
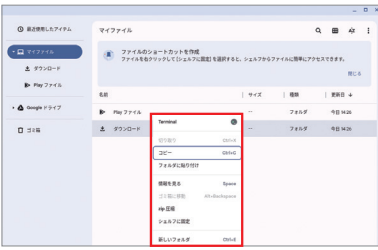
2本の指を動かす

スクロール可能なウィンドウで2本の指をタッチパッドに置き、そのまま上下もしくは左右に動かすと、スクロールします。



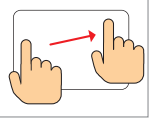
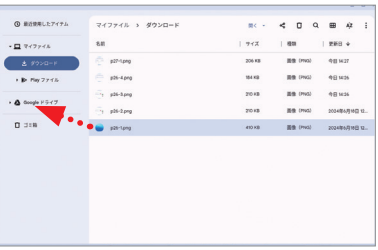
1本指でダブルクリック（またはダブルタップ）

タッチパッドを2回クリックするもしくは叩く動作です。どちらも同じ操作で、ファイルを開いてアプリケーションを起動したり、フォルダを開いたりする動作に使います。



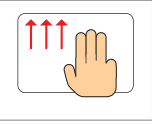
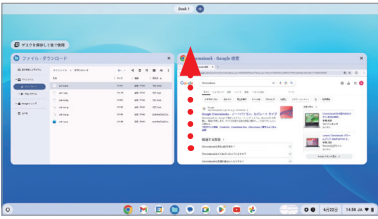
2本指でクリック（またはタップ）

パソコンのマウスの右クリックと同じ機能です。コンテキストメニュー（右クリックメニュー）の表示に使います。



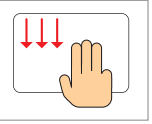
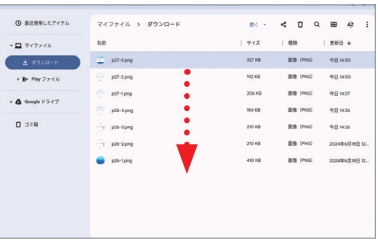
ドラッグ&ドロップ

ウィンドウやファイルなどを移動する際に使います。1本の指でクリックしたまま目的の位置まで動かすことをドラッグ、目的の位置で指を離すことをドロップと言います。



3本指で上方向にスワイプ

タッチパッドを指で払う操作をスワイプと言います。3本指で上方向にスワイプすると、開いているすべてのウィンドウを一覧表示します。



3本指で下方向にスワイプ

3本指で上方向にスワイプして表示されたウィンドウの一覧画面を閉じ、元のウィンドウを表示します。

Memo タッチスクリーンでの操作

タッチスクリーンの場合、画面に直接タッチすることで以下のような操作が行えます。

1本指でタップ	ファイルを選択したりボタンを押したりする動作に使います。
1本指でドラッグ	スクロール可能なウィンドウでスクロールします。
2本指でタップもしくは1本指で長押し	パソコンのマウスの右クリックと同じ機能です。
2本の指を広げる/つまむ	画像やWebブラウザなどの拡大/縮小を行います。
画面下から上方向にスワイプ	すべてのアプリケーション（ランチャー）を表示します。
Webブラウザ上で右方向/左方向にスワイプ	Webブラウザで前のページに戻る/次のページに進みます。

Step タッチパッドの動作を変更する

タッチパッドの動作は、「設定」画面の[デバイス]→[タッチパッド]で行えます。タップでクリックになる機能のオン/オフや、タッチパッドで指を動かしたときの速度などの設定が可能です（P.186参照）。

アプリケーションを起動しよう

覚えておきたいキーワード

シェルフ
ランチャー
終了

Chromebookでは、多くの作業をアプリケーションを起動して行います。アプリケーションを起動する方法はいくつかあるので、それらの手順を覚えておきましょう。

1 シェルフからアプリケーションを起動する

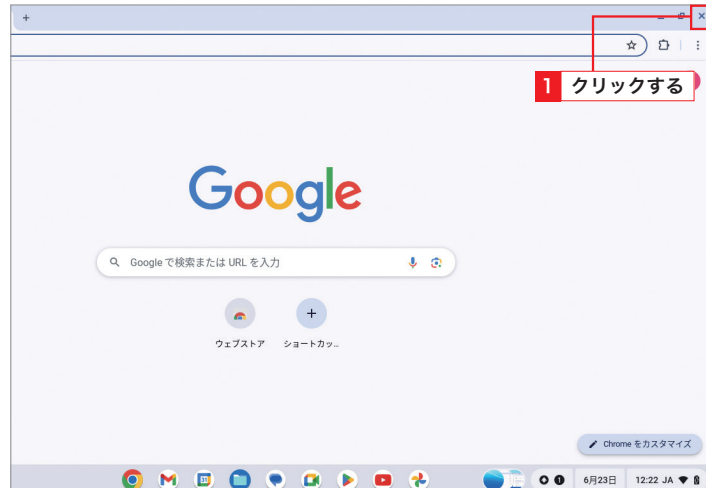
1 シェルフのアイコンをクリックする

シェルフに表示されているアプリケーションのアイコン(ここではWebブラウザのGoogle Chrome)をクリックします¹。



2 アプリケーションが起動する

アプリケーションが起動します。ウィンドウ右上の[閉じる]Xをクリックすると¹、ウィンドウが閉じてアプリケーションが終了します。



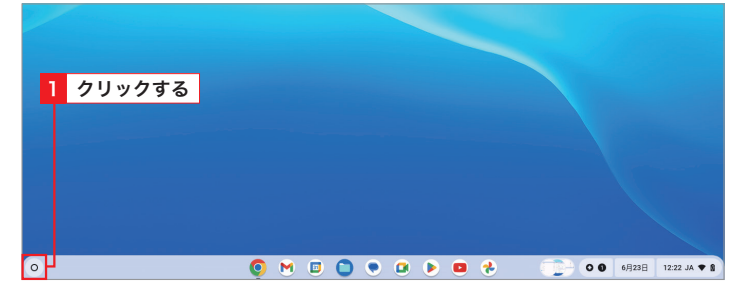
Memo Google Chromeで表示されるアプリケーション

Google Chromeは、Chromebookの標準Webブラウザです。アプリケーションによっては、Google Chrome上で表示されるものもあります。たとえば、ランチャーに登録されている「ドキュメント」(Docs)アプリのアイコンをクリックすると、Google Chromeが起動してGoogleドキュメントのWebページが表示され、その状態で文書やスプレッドシートの作成や閲覧などが行えます。

2 ランチャーからアプリケーションを起動する

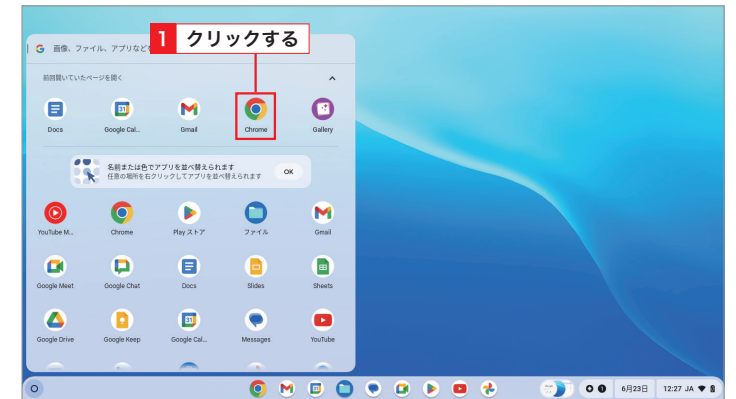
1 ランチャーボタンをクリックする

シェルフの左端にあるランチャーボタンをクリックします¹。



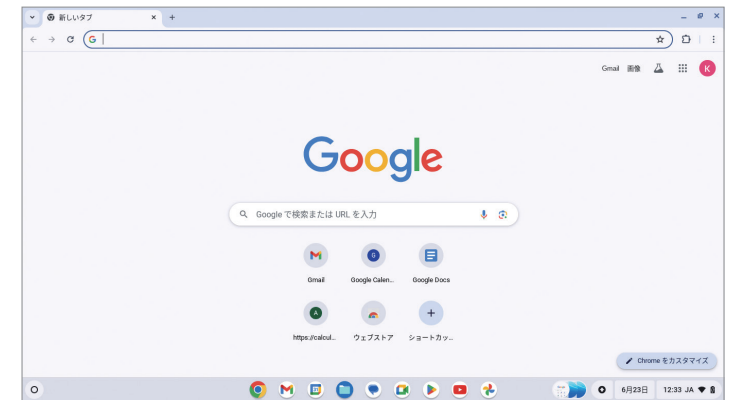
2 アプリケーションのアイコンをクリックする

ランチャーが表示されます(P.13参照)。目的のアイコン(ここではGoogle Chrome)をクリックします¹。



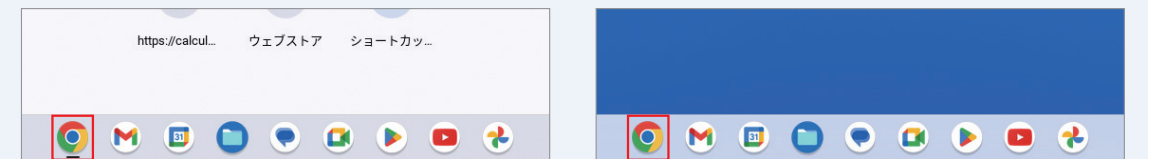
3 アプリケーションが起動する

アプリケーションが起動します。



Memo アプリケーション起動中/終了後の変化

アプリケーションを起動すると、シェルフにアプリケーションのアイコンが表示され、アイコンの下にマークが付きます。アプリケーションを終了するとマークは消え、最初からシェルフに表示されているアイコン以外はアイコン表示も消えます。



Section 20

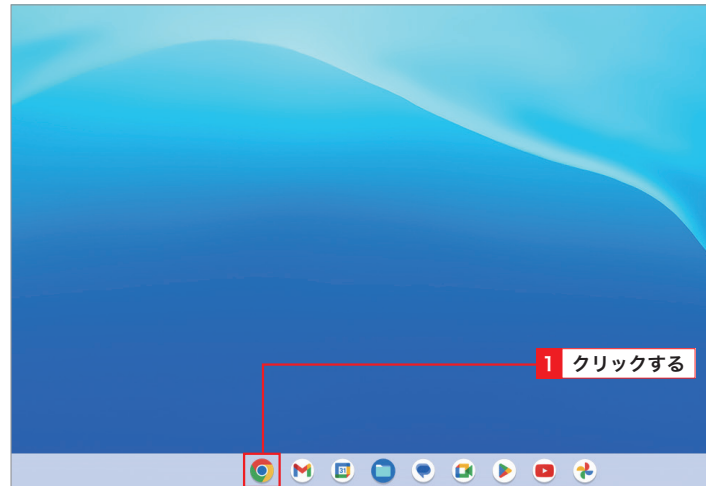
Webページを表示しよう

覚えておきたいキーワード
Google Chrome
Webページ
ページの移動

Google ChromeはGoogleが開発したWebブラウザです。WebブラウザはインターネットのWebページを閲覧するアプリで、ChromebookではGoogle Chromeを利用してWebページを表示することができます。

1 Webページを表示する

1 [Chrome]アイコンをクリックする
シェルフの[Chrome]アイコンをクリックします1。



2 Google Chromeが起動する
WebブラウザのGoogle Chromeを起動し、Googleのトップページが表示されます。アドレスバーにURLを入力して[Enter]キーを押します1。



3 Webページが表示される

Webページが表示されます。リンクをクリックします1。



4 リンク先のページが表示される

リンク先のWebページが表示されます。[←]をクリックします1。



5 前のページに戻る

前のページに戻ります。[→]をクリックすると1、次のページ(手順4のページ)に進みます。



Hint スワイプ操作でページの移動

タッチパッドを2本指で左右にスワイプすると、前のページや次のページに移動することができます。前のページに戻りたいときは左方向にスワイプし、次のページに進みたいときは右方向にスワイプします。

Section 39

Google マップで目的地の経路を検索しよう

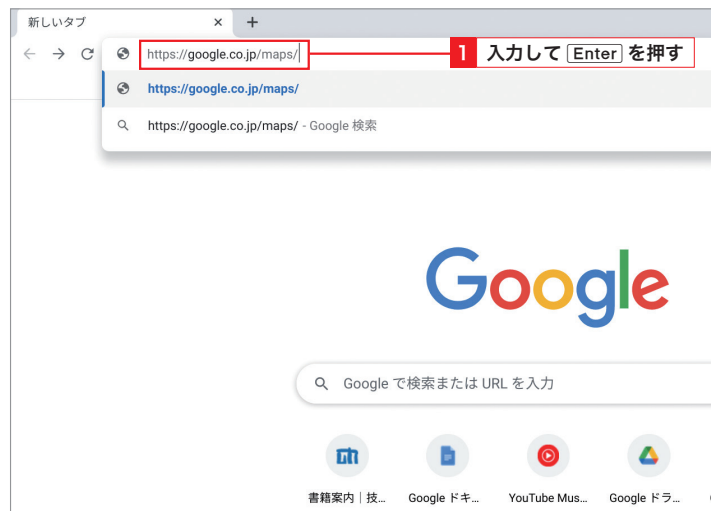
覚えておきたいキーワード
 Googleマップ
 現在地
 経路検索

Googleのサービスのなかでも、よく利用されているのがGoogleマップです。ここでは、地図を表示したり、目的地までの経路を調べたり、周辺の施設を検索したりといった、Googleマップの使い方を解説します。

1 現在地を表示する

1 URLを入力する

WebブラウザのGoogle Chromeを起動し、アドレスバーに「https://www.google.co.jp/maps/」と入力して[Enter]キーを押します1。

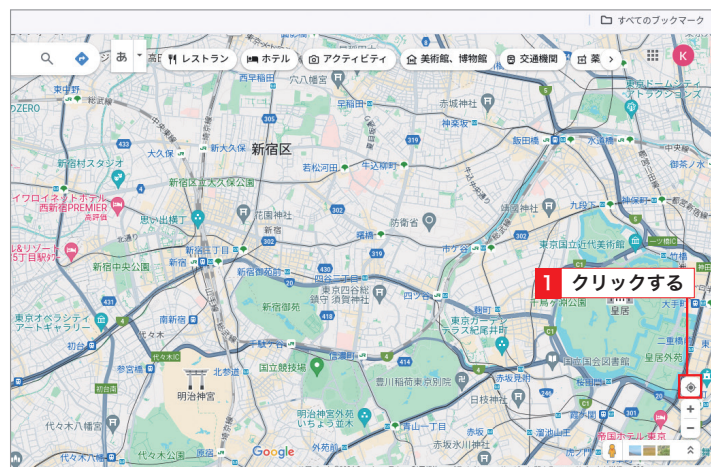


Memo URLを入力してアプリを利用

P.95でも解説したように、ここではGoogle Chromeに直接URLを入力してWebアプリを利用しています。Googleの検索結果やトップページのメニューからGoogleマップを選択すると、アプリケーション版が起動してしまうことがあるのでご注意ください。以降のページも同様です。

2 Googleマップが表示される

Googleマップで現在地の地図が表示されます。現在地が表示されない場合は、右下の📍をクリックします1。



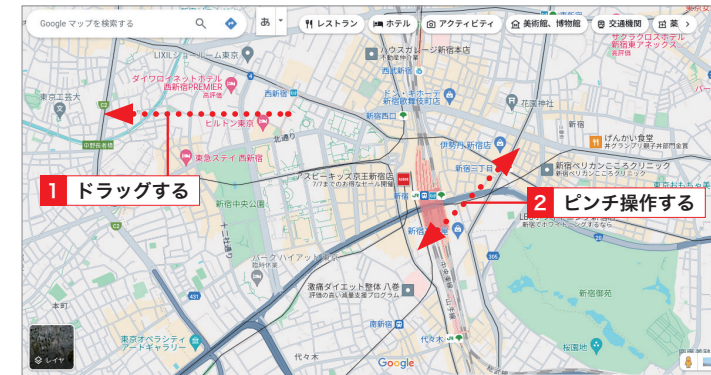
Memo 位置情報の取得

Chromebookでは、Wi-Fiに接続することで現在地の位置情報を取得しています。位置情報の取得に関する画面が表示されたら、[許可する]をクリックしてください。

2 目的地を検索して表示する

1 地図を移動する

地図上をドラッグすると、地図を移動することができます1。また、ピンチ操作で地図の拡大/縮小も行えます2。



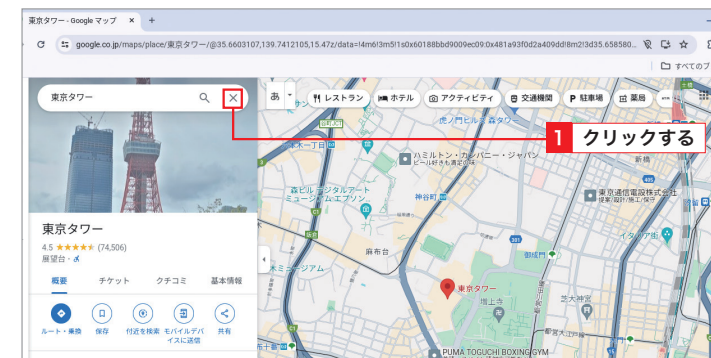
2 目的地を検索する

目的地を検索するには、左上の検索ボックスに目的地を入力して[Enter]キーを押します1。候補が複数表示される場合は、表示したい場所をクリックします2。



3 目的地が表示される

目的地の地図や情報が表示されます。[閉じる]×をクリックすると1、サイドパネルの情報が消えます。



Memo 航空写真やストリートビューを表示する

左下の[レイヤ]にポイントを合わせて[詳細]をクリックすると、航空写真や路線図、ストリートビューなどが表示できるメニューが表示されます。それぞれクリックすることで目的地の様子がよくわかります。



Section

43

第4章 • アプリケーションや拡張機能を活用する

Googleドキュメントで
文書を作成しよう

覚えておきたいキーワード

Googleドキュメント
文書
テンプレート

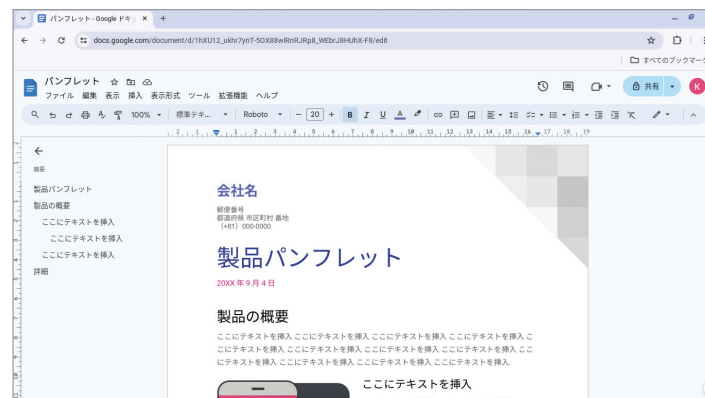
Googleドキュメントは、Googleが提供している文書作成のサービスです。OfficeアプリのWordに相当します。作成した文書はGoogleドライブに保存されます。

1 Googleドキュメントの特徴

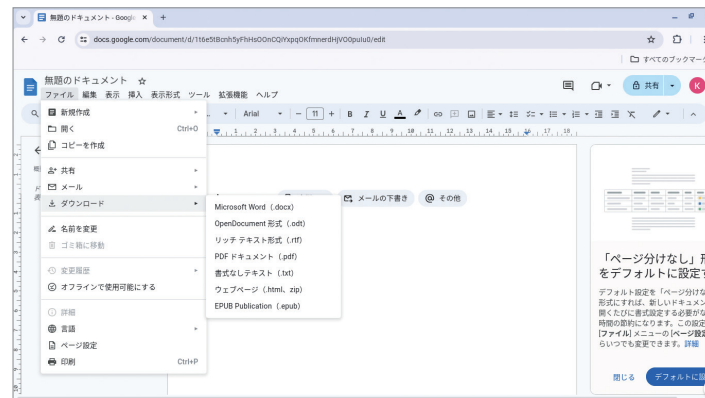
GoogleドキュメントはOfficeアプリのWordに相当する文書作成サービスで、操作もWordと似ています。作成されるファイルにも完全ではありませんが互換性があり、Wordで作成した文書ファイルをGoogleドキュメントで編集したり、逆にGoogleドキュメントで作成したファイルをWordで読み込んで編集する、といったことが可能です。新規にファイルを作成するほか、テンプレートを指定してファイルを作成することもできます。作成したファイルは一定時間で自動的に保存されるので、とくにファイルを保存するといった操作は不要です。また、作成した文書をWord形式のほか、PDFやHTML形式などで書き出すこともできます。

Memo 共有機能

Googleドキュメントのファイルを共有すると、複数人で文書を同時に編集することができます。



テンプレートを使用した文書の作成



[ファイル]→[ダウンロード]でPDFなどさまざまな形式で書き出してダウンロード可能

2 文書を作成する

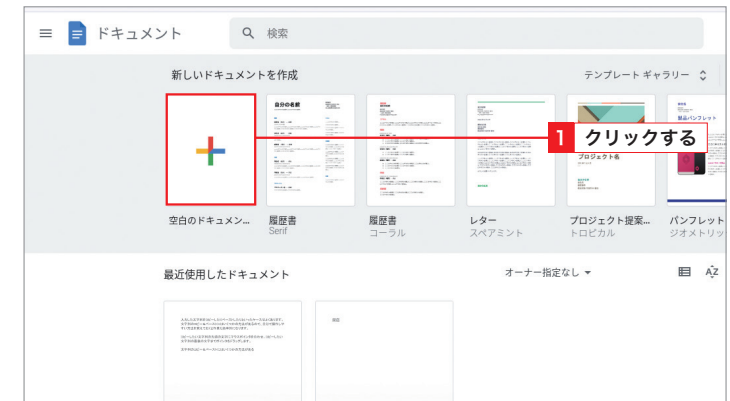
1 URLを入力する

WebブラウザのGoogle Chromeを起動し、アドレスバーに「https://docs.google.com/」と入力して[Enter]キーを押します1。



2 Googleドキュメントが表示される

Googleドキュメントが表示されます。[空白のドキュメント]をクリックします1。

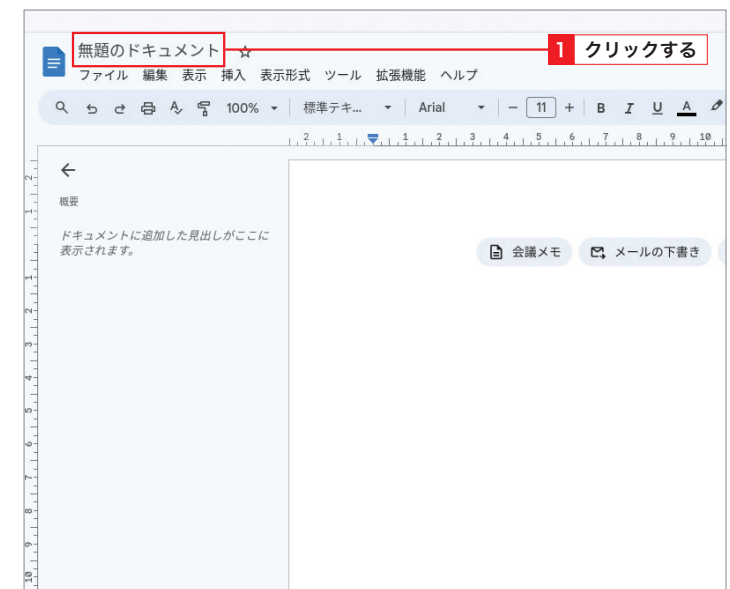


Memo テンプレートの利用

[空白のドキュメント]の横に表示されているのはテンプレートのファイルです。レターやパンフレットなど、目的に合わせた文書をすばやく作りたい場合に便利です。

3 編集画面が表示される

Googleドキュメントの編集画面が表示されます。左上の[無題のドキュメント]をクリックすると1、ファイル名を変更することができます。



Memo 文書の作成

文字の装飾やスタイルの変更などは上部に表示されたアイコンのメニューで行います。文書の編集や画像の挿入などは、その上に表示されたメニューから行います。

Section 62

Google Gemini を使おう

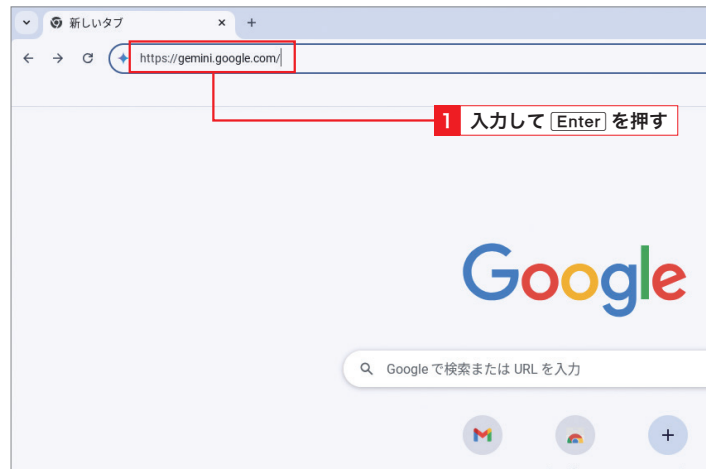
覚えておきたいキーワード
生成AI
Google Gemini
プロンプト

インターネット界で大きな話題となっている生成AI。パソコンやスマートフォンからAIを利用して、趣味や仕事に活かすのがトレンドですが、もちろんChromebookでもかんたんに利用できます。

1 Geminiを使う

1 URLを入力する

WebブラウザのGoogle Chromeを起動し、アドレスバーに「https://gemini.google.com/」と入力して[Enter]キーを押します1。



2 初期設定を進める

初回はGoogleの生成AI「Gemini」のページが表示されます。[Geminiと話そう]をクリックします1。



Memo Geminiとは

GeminiはGoogleが開発した生成AIです。テキストや画像、音声などを入力することで、指示にしたがって文章や画像などを生成してくれます。Geminiの大きな特徴は、マルチモーダルという点。テキストや画像などを混在して指定しても、指示にしたがって回答してくれます。利用にはGoogleアカウントが必要です。

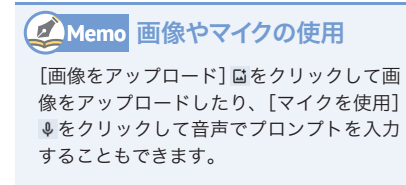
3 利用規約を承認する

利用規約が表示されるので、内容をよく読み、スクロールして[Geminiを使用]をクリックします。「Geminiへようこそ」ダイアログボックスが表示されるので、[続ける]をクリックします1。



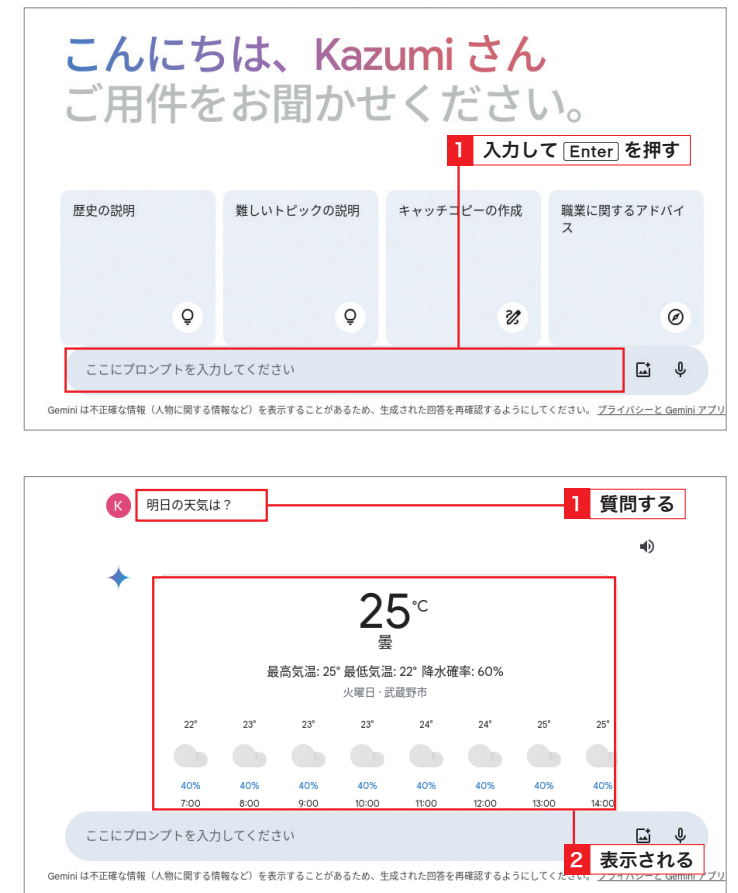
4 Geminiに質問する

Geminiが利用できるようになりました。画面下部の「ここにプロンプトを入力してください」にプロンプト（質問）を入力して[Enter]キーを押します1。



5 回答が表示される

ここでは「明日の天気は？」と質問したので1、現在の地の明日の天気予報が表示されました2。もっと難しい質問や、仕事に役立つ文章、プログラムのコードなどを生成させることも可能です。



Section

66

第6章・Chromebookをより便利に使う

Androidスマートフォンと連携して使おう

覚えておきたいキーワード
スマートフォンハブ
クイック共有
インスタントテザリング

ChromebookとAndroidスマートフォンを連携することで、ファイルを共有したり、スマートフォンのWi-Fiアクセスポイントに接続したり、スマートフォンでChromebookのロックを解除したりできるようになります。

1 スマートフォンハブの設定を行う

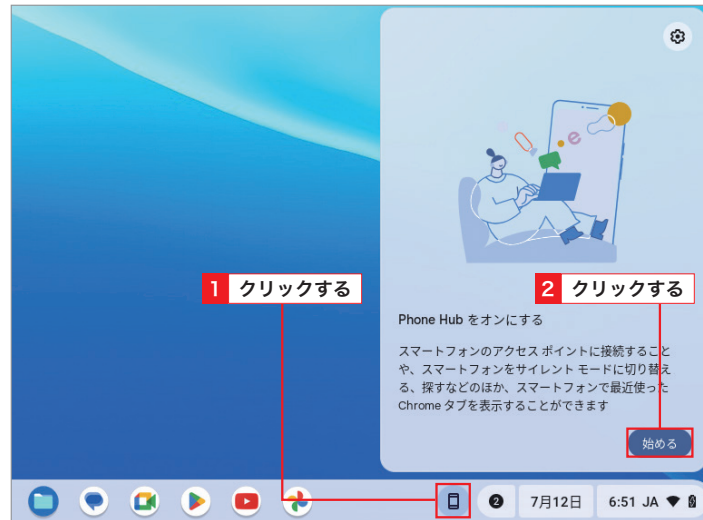
Chromebookとスマートフォンを連携するには、スマートフォンハブ機能を利用します。まずは、スマートフォンハブの設定を行っておきましょう。

1 アイコンをクリックする

ステータストレイの左側にあるスマートフォンハブのアイコンをクリックすると**1**、「Phone Hubをオンにする」画面が表示されるので、[始める]をクリックします**2**。

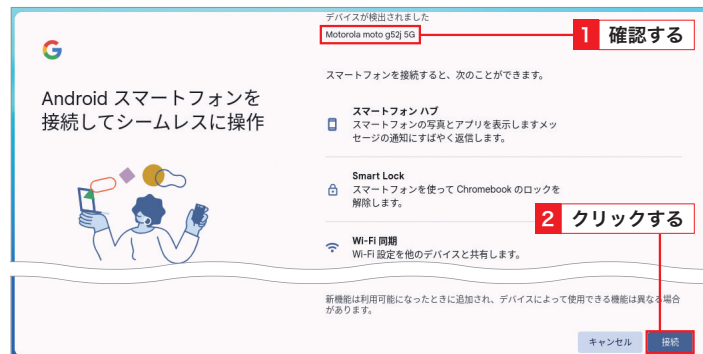
Memo スマートフォンハブが表示されない場合

スマートフォンハブのアイコンが表示されていない場合は、ChromebookとスマートフォンのBluetoothがオンになっていることを確認してください。また、Chromebookとスマートフォンに同じGoogleアカウントを設定しておく必要があります。



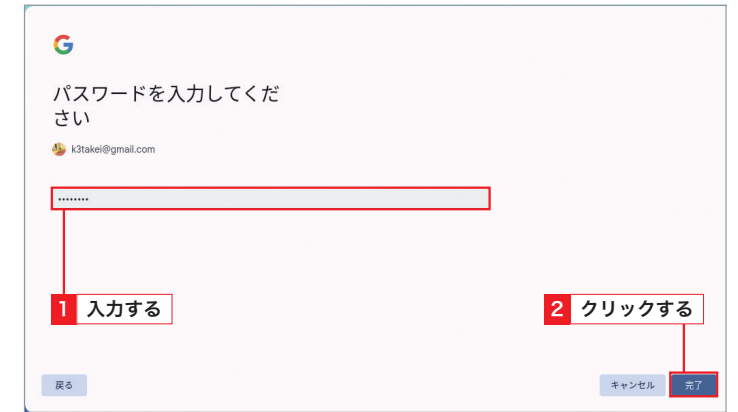
2 スマートフォンと接続する

スマートフォンハブの説明画面が表示されます。接続できるデバイス(スマートフォン)が表示されていることを確認し**1**、[接続]をクリックします**2**。



3 パスワードを入力する

Googleアカウントのパスワードを入力し**1**、[完了]→[完了]の順にクリックします**2**。これでChromebookとスマートフォンが連携されるようになります。



4 設定を確認する

P.26を参考に「設定」画面を表示し、[接続済みのデバイス]→[Androidスマートフォン]の順にクリックすると、スマートフォンハブの設定が表示されます**1**。必要に応じて使用する機能のオン/オフが行えます。本節で紹介する機能はデフォルトでオンになっています。

Memo スマートフォンとの接続を解除する

手順**4**の画面で、右上の[切断]→[切断]の順にクリックすると、スマートフォンとの接続を解除することができます。

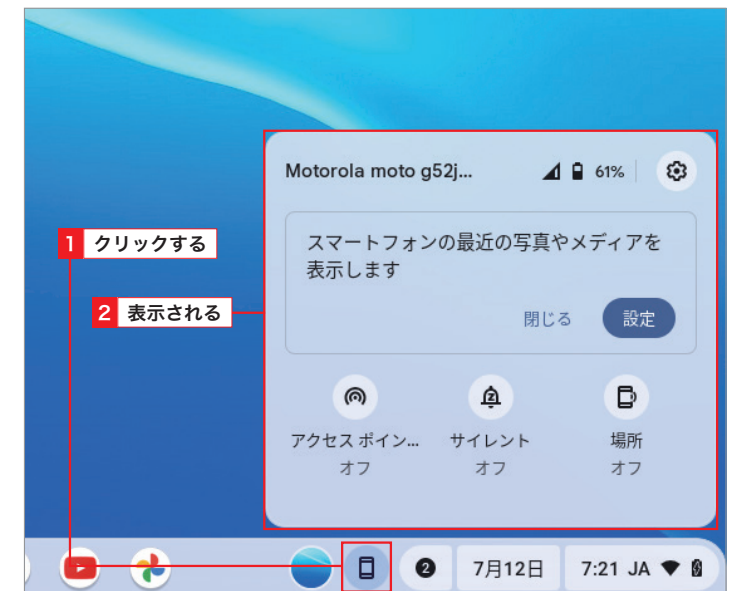


5 スマートフォンハブを表示する

以降は、ステータストレイの左側にあるスマートフォンハブのアイコンをクリックすると**1**、スマートフォンハブで利用できる機能が表示されます**2**。

Memo スマートフォンハブの機能

スマートフォンハブでは、本節で紹介している機能のほかに、最近使用した「Google Chrome」のタブの表示や、スマートフォンのサイレントモードのオン/オフ、見失ったスマートフォンのアラームを鳴らすなどの機能があります。



Q 画面


01 画面が自動でオフになるまでの時間を変更するには？

A 画面がオフになるまでの時間は変更できません。

一定時間操作がないときの動作の設定は、「設定」画面の[システム環境設定]→[電源]で行えます。充電時とバッテリー駆動時でそれぞれ「スリープモードにする」「画面をオフにする」「画面をオンのままにする」が選択できますが、画面がオフになるまでの時間やスリープモードになるまでの時間を設定する項目はありません。

ません。充電時は何の操作も行わない時間が8分経過すると画面がオフになり、30分経過するとスリープ状態になります。バッテリー駆動の場合は、6分後に画面がオフになり、10分後にスリープ状態になります。

1 P.26を参考に「設定」画面を表示し、[システム環境設定]→[電源]をクリックします。



2 この部分をクリックして設定を変更します。

Q 画面


02 アイコンや文字のサイズを変更するには？

A 「設定」画面の[デバイス]→[ディスプレイ]で変更します。

画面上のアイコンやフォントのサイズを変更するには、「設定」画面の[デバイス]→[ディスプレイ]で「ディスプレイとテキストのサイズ」のスライダーを左右にドラッグします。スライダーを「小」に近付ければ、画面に表示されるアイコンや文字が小さくなり、その分画面が広がります。スライダーを「大」に近付ければ、

逆に画面に表示されるものは大きくなり、画面が狭くなります。

1 P.26を参考に「設定」画面を表示し、[デバイス]→[ディスプレイ]をクリックします。



2 「表示サイズ」のスライダーを左右にドラッグします。

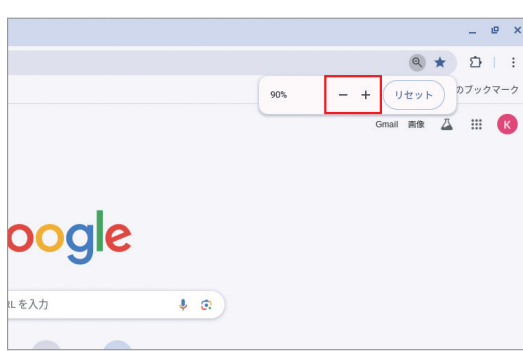
Q 画面

03 Google Chromeの表示サイズを変更するには？

A ショートカットキーを使うとすばやく変更できます。

WebブラウザのGoogle Chromeの表示サイズを変更するには、ショートカットキーを使うと便利です。**Ctrl**キーを押しながら**+**キーもしくは**^**キーを押すと表示が大きくなり、**Ctrl**キーを押しながら**-**キーを押すと表示が小さくなります。Q.02の設定とは関係なく行えます。もとの大きさに戻すには、**Ctrl**キー

を押しながら**0**キーを押します。



ショートカットキーを押して画面右上に表示される[+] [-]をクリックして表示サイズを変更することもできます。

Q ファイル

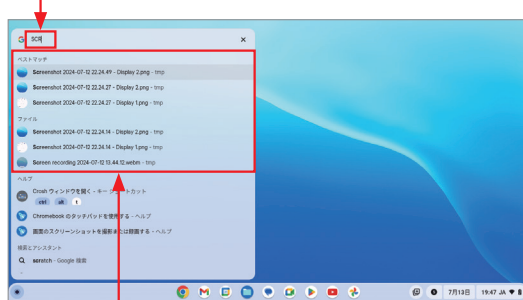
04 Chromebook内のファイルを検索するには？

A ランチャーから検索する、Googleアシスタントを利用するといった方法があります。

Chromebook内のファイルを検索するには、P.31を参考にランチャーを表示し、検索ボックスに検索したいファイル名を入力します。名前の数文字を入力するだけで、候補を表示し、絞り込んでくれます。また、P.169を参考にGoogleアシスタントを起動し、「(ファイル名)を探して」と話すだけで、目的のファ

イルを検索してくれます。

1 P.31を参考にランチャーを表示し、検索ボックスに検索したいファイル名を入力します。



2 ファイルの候補が表示されます。

Q ファイル

05 ファイルやアプリケーションをオフラインで使いたい場合は？

A 対応するアプリケーションであればオフラインで利用できます。

Chromebookはインターネットに接続して利用するのが前提ですが、アプリケーションによってはオフラインで利用できる設定があり、あらかじめオンライン時に設定を有効にすると、該当するファイルがChromebook内に保存され、いつでも利用できるようになります。ここでは、GmailとGoogleドライブについて解説します。

Google ドライブ


Googleドライブに保存されたGoogleドキュメントなどのファイルは、オフラインで使うことができます。あらかじめ、Googleドライブの「設定」画面で「オフライン」の項目にチェックを付けておくと、最近開いたファイルの一部は、Chromebookで自動的にオフラインで利用できるようになります。また、特定のファイルをオフラインで利用できるようにするには、「ファイル」アプリでGoogleドライブ内のファイルを選択し、画面上の[オフラインでの利用]をオンにします。なお、ファイルの種類によってはオフラインで利用できないものもあります。

1 「ファイル」アプリでオフラインにしたいファイルをクリックします。


Gmail

P.86を参考にGmailの「設定」画面を表示し、[オフライン]をクリックして[オフラインメールを有効にする]にチェックを付けます。これでオンラインでGmailを利用すると、データがダウンロードされ、オフラインでもGmailが利用できるようになります。

1 P.86を参考にGmailの「設定」画面を表示し、[オフライン]をクリックします。



2 [オフラインメールを有効にする]にチェックを付けます。



2 [オフラインでの利用]をオンにします。